PART2　ばやの識別

「ばや」の識別

【識別対象】

1　「　　」の終助詞「ばや」

2　接続助詞「ば」＋係助詞「や」

〈見分け方〉

1　「　　」形＋ばや（　　）＝自己願望の終助詞「ばや」

2　「　　」形＋ば や（　　）＝接続助詞「ば」**仮定**条件＋係助詞「や」

3　「　　」形＋ば や＝接続助詞「ば」**確定**条件＋係助詞「や」

〔例題一〕　傍線部の文法的説明として、最も適切なものを次の中から選べ。

①　久方の月の桂も秋はなほもみぢすればや照りまさるらむ

②　いましばしもあらばやと思へど、明くれば、ののしりて出だし立つ。

③　心あてに折らばや折らむ初霜の置きまどはせる白菊の花

ア　自己願望の終助詞

イ　順接仮定条件の接続助詞＋係助詞

ウ　順接確定条件の接続助詞＋係助詞

①＝　　②＝　　③＝

第16講　PART2　確認問題

①「人はよきほどのしまひあらばや。」の傍線部の用法として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　疑問　イ　意志　ウ　推量　エ　願望　オ　勧誘

②「いかで見ばや。」について、現代語訳として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　どうにかして見るに違いない。
イ　どうにかして見せてほしい。
ウ　どうにかして見たい。
エ　どうしたら見ることができるだろうか。

③「寝ばや飽く時のあらむ」の傍線部について、文法的説明として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　自己願望の終助詞
イ　順接仮定条件の接続助詞＋係助詞
ウ　順接確定条件の接続助詞＋係助詞
エ　動詞の一部＋係助詞

④ 「思ひつつ寝ればや人の見えつらむ夢と知りせば覚めざらましを」の傍線部について、文法的説明として最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　自己願望の終助詞
イ　順接仮定条件の接続助詞＋係助詞
ウ　順接確定条件の接続助詞＋係助詞
エ　動詞の一部＋係助詞

⑤ 傍線部が他と文法的に異なるものとして最も適当なものを、次の中から選べ。

ア　龍ならばや、雲にも乗らむ。
イ　助け奉らばや。
ウ　五月来ば鳴きも古りなむほととぎすまだしきほどの声を聞かばや
エ　消えも失せばや。

第16講　PART2　解答

〔例題一〕①　ウ　②　ア　③　イ

第16講　PART2　確認問題　解答

〔解説〕

① ラ変「あり」の未然形＋「ばや」（文末）＝自己願望の終助詞。よって、エが正解。

② マ行上一段動詞「見」の未然形＋「ばや」（文末）＝自己願望の終助詞。終助詞「ばや」の意味は「〜たい」。よって、ウが正解。

③ ナ行下二段動詞「寝」の未然形＋接続助詞「ば」仮定条件＋係助詞「や」。よって、イが正解。

④ ナ行下二段動詞「寝」の已然形＋接続助詞「ば」確定条件＋係助詞「や」。よって、ウが正解。

⑤「ばや」の上と、用いられている場所に着目する。いずれも未然形接続であるが、アのみ文中に用いられている。未然形＋接続助詞「ば」仮定条件＋係助詞「や」。よって、アが正解。

〔解答〕

① エ　② ウ　③ イ　④ ウ　⑤ ア